日刊工業新聞 2019年6月12日(水)

などの腐食ける耐食性のような環クリート構補強材・緊きることが。同社は技性が認めらいる。ーの「港湾術の確認審業」で、専査・評価を性などの性れた。評価005号。は炭素繊維樹脂を組み合材を、よ成形した構ル。海岸部布地域など境でも、塩錆や膨潤の、構造物の費を低減でクリートのり、省資源がる。

資

ャーに投資し、大鵬イ

VSP生産能力 月420トンに増強 三井金属

三井金属は台湾工場（南投市）で進めていた高周波基板用の電解銅箔「VSP」の設備増強工事が完了し、営業運転を開始した。生産能力は2017年7月比2・4倍の月42

サーバーなどの通信機器に使うVSPは、データ通信の高速・大容量化に伴い市場が拡大している。今後はスマートフォンの第5世代通信（5G）の運用が開始するほか、自動運転やコネクテッドカーの普及が見込まれており、VSPのさらなる市場拡大が期待され

権田金属工業など受賞 第46回日本銅センター賞

日本銅センター（東京都台東区、小野直樹会長、03・3836・8821）の第46回日本銅センター賞が決まり、権田金属工業（相模原市中央区）とダイヘンが受賞した。同賞は、銅の需要開拓や普及促進に貢献した企業などに贈られる。

権田金属工業の受賞案件は「モーター用エンドリングの製造販売により銅の需要促進に貢献」。同社は1982年からモーター用エンドリングの製造を開始し、国内外の鉄道車両や産業機械に採用されている。数量は年間100トン以上で、今後も需要増加が見込めるという。授賞式で権田源太郎社長（写真右）は「伝統的な賞で大変うれしい。日本の大型モーターの国際競争力向上にこれからも貢献したい」とあいさつした。ダイヘンは3Dプリンターによる銅合金積層造形技術を確立した件が評価された。（相模原）

FAX申込書（コピーしてお使いください）

氏　名　[姓]　[名]　氏名フリガナ

社名フリガナ

会社名

郵便番号　〒　-

会社住所

部署名　役職名　年齢

TEL　内線　FAX